

職員の自己評価票（児童心理治療施設）

実施時期： 令和5年12月18日（月）～令和6年1月5日（金）

対象： 管理職、生活支援課・治療支援課職員 等

実施方法： 調査票を書面にて配布し回収。

調査数： 25人 / **回答数：** 25人

※a、b、c のいずれかで回答してください。

- a) 行っている（75%以上）
- b) 行っているが不十分
- c) 行っていない（25%未満）

共通評価基準（45項目） I 治療・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a ・要項・運営指針に明示し、事務所内に掲示されている。 ・年度当初に確認している。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		【判断した理由・特記事項等】
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		【判断した理由・特記事項等】
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a ・立ち上げから4年でまだ試行錯誤中のところもあると感じる。
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a ・年度当初に事業計画が策定され実施している。
(2) 事業計画が適切に策定されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a ・年間計画を基に都度実施要領を作成し、活動、評価が行われている。
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a ・パンフレット等で周知している。 ・行事用事前時掲示して周知している。

4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	8 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a ・所内の研修体制が整えられ、内外の研修に計画的に派遣している。 ・申し送りや所内研修、各会議で各児童について積極的に取り組んでいる。
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		【判断した理由・特記事項等】
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・年度当初の研修、随時の安全対策、虐待防止等行われている。
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	12 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a ・個々に具体的な助言、方針を示すとともに、自らも率先して臨床にあたっている。 ・児童の治療のための調整等を職員と相談しながら取り組んでいる。
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b ・人材確保に向け取り組んでいるが、定着は不十分で更に推進する必要あり。 ・難しい中ではあるが、手厚い支援のためにはやはりマンパワーが必要。 ・職員のバーンアウトや離職を防ぐ取り組みがない。
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b ・経験年数のバランスがとれていないと感じる。 ・人材が不足しているところの解決が難しい。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		【判断した理由・特記事項等】
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ・一部には手が回らない状況がある。
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
(4) 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	20 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・実習担当者が指定され、中心になって研修計画を立案し、実行されている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・児童状況もあり、実施できていない。 ・地域交流できる状態ではない。(児童) ・児童の状態像として難しいため、まずは関係者との交流を持てるようにしている。
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b ・児童状況もあり、実施できていない。
(2) 関係機関との連携が確保されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		【判断した理由・特記事項等】
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a ・「ハルクル」による地域支援 ・ハルクルの運営
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a ・「ハルクル」による地域支援 ・ハルクル(家族療法事業)が稼働してきている。

Ⅲ 適切な治療・支援の実施

1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	28 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。	a
(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	30 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
②	31 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
③	32 治療・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a ・支援計画立案・評価・見直しを定期的に行い、移行を見据えた計画的支援を実施している。 ・関係機関と情報共有をして継続した支援に努めている。
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		【判断した理由・特記事項等】
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a ・個々には面接等で把握している。 ・子供会等が行われていない。 ・季節行事・誕生会など

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a ・意見箱を設置し、活用されている。
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	37 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a ・マニュアルを整備している。
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・マニュアルを整備している。
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a ・マニュアルを整備している。 ・防災訓練等毎月実施している。

2 治療・支援の質の確保

(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。		【判断した理由・特記事項等】
①	40 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	a
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		【判断した理由・特記事項等】
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。		【判断した理由・特記事項等】
①	44 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ・引き継ぎ・周知などしっかり行われている。
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ・引き継ぎ・周知などしっかり行われている。

内容評価基準（20項目）A-1 子どもの最善の利益に向けた治療・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		【判断した理由・特記事項等】
①	A1 一人ひとりの子どもの最善の利益を目指した治療・支援が、総合環境療法を踏まえた多職種連携の取り組みで実践されている。	a
②	A2 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、生活体験を通して発達段階や課題を考慮した支援を行っている。	a
③	A3 子どもの発達段階に応じて、さまざまな生活技術が身に付くよう支援している。	a
④	A4 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。	b ・職員が暴力にさらされている状況は見逃されている。 ・極力適切に対応しているが、職員体制上（人数の問題もあり）最善ではない対応もある。

(2) 子どもの意向への配慮や主体性の育成		【判断した理由・特記事項等】
①	A5 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちのこととして主体的に考えるよう支援している。	a ・日課の説明は都度行っているが、児童が主体的に過ごすよりは受け身になりがち。
②	A6 子どもの協調性を養い、他者と心地よく過ごすためのマナーや心遣いができるように支援している。	a ・子どもの準備段階的にそのレベルに達していない。
(3) 子どもの権利擁護・支援		【判断した理由・特記事項等】
①	A7 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。	a
②	A8 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう支援している。	a
(4) 被措置児童虐待の防止等		【判断した理由・特記事項等】
①	A9 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a ・マニュアルを整備している。 ・研修実施している。

A-2 生活・健康・学習支援

(1) 食生活		【判断した理由・特記事項等】
①	A10 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	a ・アレルギーや偏食にも対応している。 ・偏食が激しい児童やアレルギーのある児童には、個別で特に配慮を行っているが、食事環境の調整に努める必要がある。
(2) 衣生活		【判断した理由・特記事項等】
①	A11 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
(3) 住生活		【判断した理由・特記事項等】
①	A12 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。	a
②	A13 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	a
(4) 健康と安全		【判断した理由・特記事項等】
①	A14 発達段階に応じて、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a
②	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a ・日々の健康チェックを実施し、状況に応じて医師や看護師が随時対応している。
(5) 性に関する支援等		【判断した理由・特記事項等】
①	A16 子どもの年齢・発達段階等に応じて、性をめぐる課題に関する支援等の機会を設けている。	a ・性教育プログラムの実施。 ・プログラム作成に取り組んでいる。
(6) 学習支援、進路支援等		【判断した理由・特記事項等】
①	A17 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援に取り組み、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a

A-3 通所支援

(1) 通所による支援		【判断した理由・特記事項等】
①	A18 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。	a ・通所児童へは心理的ケアや学校の支援が中心で、生活支援には至らないこともある。

A-4 支援の継続性とアフターケア

(1) 親子関係の再構築支援等		【判断した理由・特記事項等】
①	A19 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立し、家族関係の再構築に向けて支援している。	a
②	A20 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	a ・複数体制でのアフターフォローを児童本人、家族や施設に実施している。 ・定期的な面接に加え、児童の状況によってアフターフォローを実施している。